

千葉国際芸術祭 2025 アートプロジェクト

「引き興し／倒し：Pull and Raise/Topple」を開催します

千葉市では、千葉国際芸術祭2025アートプロジェクト加藤翼パフォーマンス「引き興し／倒し：Pull and Raise/Topple」を実施しますので、お知らせします。

1 パフォーマンス概要

100人の力でロープを引き、巨大な構造物を一気にひっくり返します。

(1) 開催日

令和7年8月30日（土）16：00から

(2) 会場

幸町団地 しょうじゅ美浜前空地

（美浜区幸町2-12-6） ※駐車場なし

(3) 参加方法

参加費無料。事前申し込み不要で、どなたでも参加できます。

(4) その他

パフォーマンス当日は、同会場において第54回団地祭（主催 幸町団地祭実行委員会）が開催されます。

(5) 取材について

「引き興し／倒し：Pull and Raise/Topple」の取材を希望される場合は8月29日（金）15：00までに文化振興課（電話245-5261）へご連絡ください。



作品イメージ 引き興し／倒し：Pull and Raise/Topple

2 アートプロジェクト概要

<プロジェクト説明>

団地に暮らす外国人労働者と、長年そこに暮らしてきた高齢者、それぞれにインタビューを行い、その言葉や身体記憶を手がかりに構築物を設計・制作する。そして完成した構造体を団地内の広場に設置し、住民たちとともにその構築物を「引き興し／倒し（Pull and Raise/Topple）」するパフォーマンスを実施する。生活リズムや言語の違い、物理的な距離によって分断されがちな人々が、ひとつの行為を共有することで生まれる一時的な共在の場。それこそが、団地という集合体が新たなかたちで再構築される瞬間になると考えている。

<スケジュール>

令和7年7月	住民へのインタビューと構築物の設計
8月	団地の広場で構築物を制作
8月末	パフォーマンス実施
9月～11月	展示

<参考>

1 千葉国際芸術祭 2025 について

(1) 概要

「千葉国際芸術祭 2025」は、地域の可能性をひらく市民参加型アートプロジェクトの祭典です。まちなかの思わぬ場所がひらかれ、手をあげた人から活動が始まり、アーティストも生活者も来訪者も、みんなでつくる参加型の芸術祭です。

総合ディレクターに中村政人氏を迎え、「ちから、ひらく。」をコンセプトに令和7年度は国内外32組のアーティストによる参加型アートプロジェクトを実施します。

本芸術祭が地域における持続的な文化創造の礎となり、千葉開府900年記念事業の旗艦事業として、千葉市の「人づくり」「まちづくり」「未来づくり」に寄与し、「個性豊かな新しい千葉文化の創造」の起点となることを目指します。

(2) 会期

まちなかりサーチ・制作期間 4月～9月中旬

集中展示・発表期間 9月19日（金）～11月24日（月・休）

振り返り期間 12月

2 アーティストプロフィール

加藤 翼（かとう つばさ）氏

パフォーマンス、構造物、映像を軸に、他者との協働やグループによる共同実践を通じて活動を展開している。代表作「Pull and Raise/Topple」シリーズでは、巨大な構造物を大勢の力で動かす行為を通じて、社会的な緊張や協力のダイナミクスを可視化する。



加藤 翼 氏